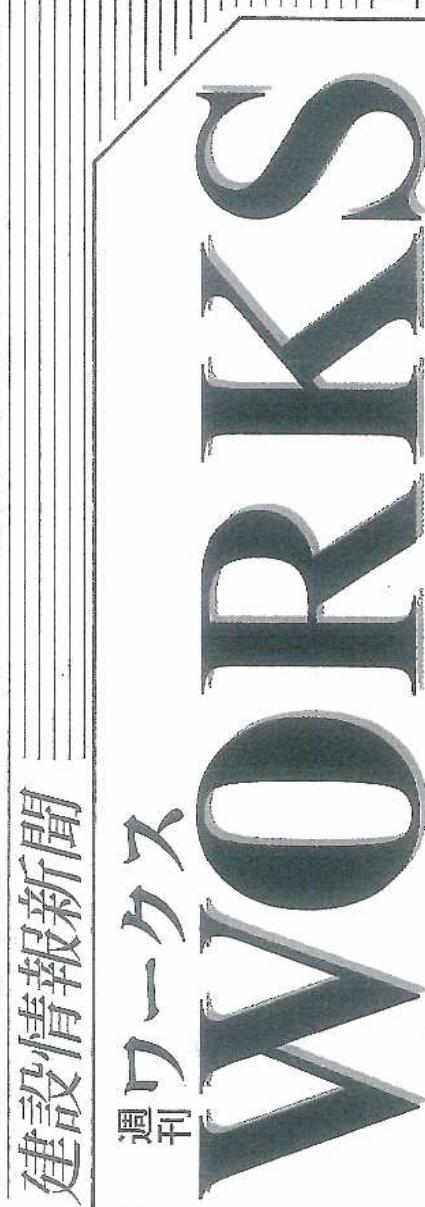


(平成15年1月9日第三種郵便物認可) (1)

もっと読者に近づきたい… 建設ジャーナリスト宣言!

2022年(令和4年)1月3日月曜日 第1242号



建設情報新聞

2022
正月特集号
第一部

毎週月曜日発行

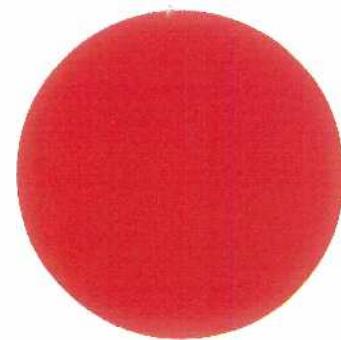
発行元 (有)サムライズ

E-mail: info@eworks.jp

HP <http://www.eworks.jp/>

大分市大字光吉1015番地12 TEL 097-567-0324 FAX 097-569-7994

税込6,380円 (FAX・メール情報サービス込み)



若者世代に選ばれる業界へ



協同組合大分県鉄構工業会
理事長 清松 芳夫

新年明けましておめでとうございます。令和四年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみると、石油等のエネルギー・コモディティや粗鉄等のハード・コモディティなどの、世界市場でその価格が決められるものは、コロナ禍の経済対策として行われた量的緩和の受け皿という背景もあり、投機的に常識を超えて値上がりしていく傾向にありました。そこにSDGsやカーボンプライシングなど環境コストの増加も合わさって、昨年だけでも度重なる異常な値上げが行われましたが、しかしに新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に翻弄され、個人消費や生産・雇用などの足元の経済指標が総崩れする中、そのコスト増を売価に転嫁することもできず、苦しんでいる業態も数多くありました。

我々の鉄工業界はまさに、この苦しんでいる業態のひとつでございますが、組合活動においては、昨年は総会をはじめとして、理事会等も中止や対面のない会議(WEB会議や書面決議)を余儀なくされ、各団体や関連各社や組合員同士のコミュニケーションも不足してしまい、あらゆる面で

足踏み状態になってしまいました。やっと新型コロナ新規感染者数も落ち着いて、今年こそは!と思っていた矢先に、突然舞い上がった新しい火種であるオミクロン株により、今年もどのような年になるのか?不安の幕開けとなっていました。

しかし、不安材料ばかりを論っていて仕方ないので、本年はこれまで以上に、組合員同士の更なる結束力を固めて、少なくとも原材料の値上げ分は売価に転嫁できるように協力しあう体制を作らなければなりません。また、働き方改革にも積極的に取り組み、若者世代に選ばれる業界にもならなければなりません。さらに、このような厳しい環境ではございますが、今後一層の体质強化に努め、機械化やデジタル化を推し進めて、施工能力の向上を図ると共に、安心で安全な活力ある業界でありたいと願っております。我々は社会のエッセンシャルワークとして無くてはならない業界であるという自負を持つと共に、お客様の生命と財産を守り、社会に貢献できるファブリケーターであり続けることが使命であると強く思っています。

長く続いているコロナ禍ではありますが、元々は特効薬がなくてワクチンがないからという理由で、このような経済を止めるほどの感染対策を施してきました。しかし、ワクチンの接種率も集団免疫の基準といわれる6割を超え、近く特効薬も承認されると思われます。そうなればwithコロナに舵を切り、経済を復活させなければなりません。いつまでもコロナに怯えていてはいけないと思うのです。そして、その時こそ我々の業界が最初に動き始めるのです。その日に我々は備えなければならないのです。

本年も旧年にも増して、協同組合大分鉄構工業会へのご理解とご支援をお願い申し上げますと共に皆様のご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

令和4年元旦

謹んで新年のお祝いを申し上げます